



## サーバの IP アドレスの変更

- 「パブリッシャ サーバの IP アドレスの変更」(P.4-1)
- 「サブスクライバ サーバの IP アドレスの変更」(P.4-4)

### パブリッシャ サーバの IP アドレスの変更



注意

パブリッシャ ノードの IP アドレスを変更すると、仮想サーバのサーバ ソフトウェア ライセンスが無効になります。

パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更するには、この手順を使用します。

#### 手順

**ステップ 1** 「変更前のタスク」(P.3-1) を完了します。



(注) IP アドレスにノード名が設定されていない場合は、ステップ 2～4 をとばすことができます。

**ステップ 2** パブリッシャ ノードのクラスタ トポロジ ノード名が IP アドレスで定義されている場合、パブリッシャ ノードの名前を変更する必要があります。それ以外の場合は、ステップ 5 に進みます。

Cisco Unified Presence の管理から、パブリッシャ サーバで次の作業を実行します。

- パブリッシャ サーバで、[Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration)] > [システム (System)] > [クラスタトポロジ (Cluster Topology)] に移動します。
- [クラスタ トポロジ (Cluster Topology)] ツリービューからパブリッシャ ノードを選択します。
- [ノード設定 (Node Configuration)] セクションで、Cisco Unified Presence サーバの IP アドレスを変更します。
- [保存 (Save)] を選択します。

**ステップ 3** 各サブスクライバ ノードで次のコマンドを入力し、クラスタにあるすべてのサブスクライバ ノードに、この IP アドレスの変更が複製されていることを確認します。

```
run sql select name,nodeid from ProcessNode
```

このコマンドの出力例を次に示します。

```
admin: run sql select name,nodeid from ProcessNode
name          nodeid
=====
EnterpriseWideData 1
10.3.90.21     4
10.3.90.5     2
```



### 注意

IP アドレスがクラスタ内のすべてのノードに複製されるまで次の手順に進まないでください。

IP アドレスがクラスタ内のすべてのノードに複製されていない場合、次のリカバリ手順を完了してください。

- a. [ クラスタトポロジ (Cluster Topology) ] ウィンドウで、パブリッシャ ノードの名前を古い IP アドレスに更新します。
- b. パブリッシャ ノードで、次のコマンドを実行してデータベース レプリケーションをリセットします。
 

```
utils dbreplication reset all
```
- c. パブリッシャ ノードで、次のコマンドを実行してすべてのノードで複製状態が 2 であることを確認してください。
 

```
utils dbreplication runtimestate
```
- d. この手順のステップ 1 に戻ります。

**ステップ 4** 新しい IP アドレスが Cisco Unified Communications Manager の管理のアプリケーション サーバのリストに表示されていることを確認します。次の作業を実行し、パブリッシャ サーバ上で新しい IP アドレスを反映します。

- a. Cisco Unified Communications Manager の管理 GUI から、[ システム (System) ] > [ アプリケーション サーバ (Application Server) ] に移動します。
- b. [ サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers) ] ウィンドウから [ 検索 (Find) ] を選択し、サブスクリバ サーバを表示します。
- c. 新しい IP アドレスがアプリケーション サーバのリストにあることを確認します。新しい IP アドレスがリストに表示されていない場合は、これを追加します。

**ステップ 5** DNS がある場合は、次の手順を実行してください。

- a. 新しい IP アドレスを指すようにパブリッシャ サーバの DNS レコードを変更します。
- b. 必ず順方向 (A) レコードと逆方向 (PTR) レコードの両方を正しく更新します。

**ステップ 6** クラスタにある各サブスクリバ サーバの CLI で次の作業を実行することにより、サブスクリバ サーバごとにパブリッシャ サーバの IP アドレスを変更します。

- a. 次のコマンドを入力します。
 

```
set network cluster publisher ip new_ip_address
```
- b. **Yes** と入力して Enter キーを押します。サーバが自動的に再起動します。



### (注)

この時点でクラスタ トポロジの設定は完了です。次にネットワーク設定の変更に対応します。

**ステップ 7** (任意) 新しいデフォルト ゲートウェイ アドレスを必要とする別のサブネットにサーバを移動する場合は、次の手順を完了してください。

**a.** [Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration) ] > [ クラスタトポロジ (Cluster Topology) ] > [ 設定 (Settings) ] を選択して、ルーティングの通信タイプがルータツールータであることを確認します。ルーティングの通信タイプがマルチキャスト DNS の場合は、ルータツールータに変更します。

**b.** 次の CLI コマンドを入力します。 `set network gateway new_gateway`

次の出力が表示されます。

```
admin:set network gateway 10.53.56.1
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.
```

```
Continue (y/n)?
```

**yes** と入力して Enter キーを押します。

**ステップ 8** 次の CLI コマンドを入力して、パブリッシャ サーバの IP アドレスを変更します。

```
set network ip eth0 ip_address netmask
```

このコマンドでは、サーバの新しい IP アドレスを `ip_address` で指定し、サーバの新しいネットワーク マスクを `netmask` で指定します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network ip eth0 10.53.57.101 255.255.255.224
```

```
WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.
```

```
Continue (y/n)?
```

**yes** と入力して Enter キーを押します。

**ステップ 9** DNS を使用する場合、次の CLI コマンドを実行して、サブスクリバ ノードのローカル解決が新しい IP アドレスにも解決されることを確認します。

```
utils network host pub-hostname
```

ここで、`pub-hostname` は、パブリッシャ ホスト名です。サンプル出力は次のとおりです。

```
admin:utils network host cup-123
Hostname cup-123 resolves to 14.86.13.11
```

**ステップ 10** パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドですべてのサブスクリバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

**ステップ 11** パブリッシャ ノードで次のコマンドを入力して、データベース レプリケーションが正常に確立されたことを確認してください。

```
utils dbreplication runtimestate
```

サンプル出力は次のとおりです。

```
DDB and Replication Services: ALL RUNNING
```

```
DB CLI Status: No other dbreplication CLI is running...
```

```
Cluster Replication State: BROADCAST SYNC Completed on 1 servers at: 2012-09-26-15-18
```

## ■ サブスクライバサーバの IP アドレスの変更

```
Last Sync Result: SYNC COMPLETED 257 tables sync'ed out of 257
Sync Errors: NO ERRORS
```

```
DB Version: ccm9_0_1_10000_9000
Number of replicated tables: 257
Repltimeout set to: 300s
```

```
Cluster Detailed View from gwydlvm020105 (2 Servers):
```

SERVER-NAME	IP ADDRESS	PING (msec)	RPC?	REPLICATION STATUS	REPL. QUEUE	DBver& TABLES	REPL. LOOP?	REPLICATION SETUP (RTMT) & details
gwydlvm020105	192.168.20.244	0.038	Yes	Connected	0	match	Yes	(2) PUB Setup Completed
gwydlvm020106	192.168.10.201	0.248	Yes	Connected	128	match	Yes	(2) Setup Completed



(注)

- すべてのノードで REPLICATION STATUS が **Connected** であることおよび REPLICATION SETUP 値が **(2) Setup Complete** であることを確認することが重要です。この値が 2 以外になっている場合は、データベースのレプリケーションに何らかの問題があるので、レプリケーションをリセットする必要があります。
- レプリケーションセットアップの値が 2 になるまで、繰り返し `utils dbreplication runtimestate` コマンドを実行できます。

レプリケーションがセットアップされない場合は、次のトラブルシューティング手順を実行してください。

- パブリッシャ ノードで次のコマンドを入力して、レプリケーションをリセットします。

```
utils dbreplication reset all
```

- パブリッシャ ノードで次のコマンドを再実行して、複製状態をチェックします。

```
utils dbreplication runtimestate
```

ステップ 12 「変更後のタスク」(P.8-1) を完了します。

## サブスクライバサーバの IP アドレスの変更

IP アドレスで各サーバを定義している場合にサブスクライバサーバの IP アドレスを変更するには、ここに示す手順を使用します。IP アドレスを正しく変更するには、この手順のすべての作業を完了する必要があります。

2 つ以上のサブスクライバサーバの IP アドレスを変更する場合は、次の作業を実行することを推奨します。

- 一度に 1 つのサーバの IP アドレスを変更します。
- クラスタ内のその他すべてのサーバを再起動します (パブリッシャサーバを含む)。
- レプリケーションのステータスを確認します。変更した IP アドレスが正しく反映されている場合は、次のサーバで同じ手順を実行します。レプリケーションが正常に完了するまで別のサーバの IP アドレスを変更しないでください。

## 手順

**ステップ 1** 「変更前のタスク」(P.3-1) を完了します。



(注) IP アドレスにノード名が設定されていない場合は、ステップ 2～4 をとばすことができます。

**ステップ 2** サブスクリバ ノードのクラスタ トポロジ ノード名が IP アドレスで定義されている場合、サブスクリバ ノードの名前を変更する必要があります。それ以外の場合は、ステップ 5 に進みます。

Cisco Unified Presence の管理から、サブスクリバ サーバで次の作業を実行します。

- [ システム (System) ] > [ クラスタ トポロジ (Cluster Topology) ] を選択します。
- [ クラスタ トポロジ (Cluster Topology) ] ツリービューからパブリッシャ ノードを選択します。
- [ ノード設定 (Node Configuration) ] セクションで、Cisco Unified Presence サーバの IP アドレスを変更します。
- [ 保存 (Save) ] を選択します。

**ステップ 3** 次の CLI コマンドを入力して、クラスタにあるすべてのノードに IP アドレスの変更が複製されていることを確認します。

```
run sql select name,nodeid from ProcessNode
```

このコマンドの出力例を次に示します。

```
admin: run sql select name,nodeid from ProcessNode
name                nodeid
=====
EnterpriseWideData 1
10.3.90.21          4
10.3.90.5           2
```



## 注意

IP アドレスがクラスタ内のすべてのノードに複製されるまで次の手順に進まないでください。

IP アドレスがクラスタ内のすべてのノードに複製されていない場合、次のリカバリ手順を完了してください。

- [ クラスタトポロジ (Cluster Topology) ] ウィンドウで、サブスクリバ ノードの名前を古い IP アドレスに更新します。
- パブリッシャ ノードで、次のコマンドを実行してデータベース レプリケーションをリセットします。

```
utils dbreplication reset all
```

- パブリッシャ ノードで、次のコマンドを実行してすべてのノードで複製状態が 2 であることを確認してください。

```
utils dbreplication runtimestate
```

- この手順のステップ 1 に戻ります。

**ステップ 4** Cisco Unified Communications Manager の管理から次の作業を実行し、サブスクリバ サーバ上で新しい IP アドレスを反映します。

- [ システム (System) ] > [ アプリケーション サーバ (Application Server) ] を選択します。
- [ サーバの検索と一覧表示 (Find and List Servers) ] ウィンドウから [ 検索 (Find) ] を選択し、サブスクリバ サーバを表示します。

- c. 新しい IP アドレスがアプリケーションサーバのリストにあることを確認します。新しい IP アドレスがリストに表示されていない場合は、これを追加します。

**ステップ 5** (任意) 新しいデフォルト ゲートウェイ アドレスを必要とする別のサブネットにサーバを移動する場合は、次の手順を完了してください。

- a. [Cisco Unified Presence の管理 (Cisco Unified Presence Administration) ] > [ クラスタトポロジ (Cluster Topology) ] > [ 設定 (Settings) ] を選択して、ルーティングの通信タイプがルータツールラータであることを確認します。ルーティングの通信タイプがマルチキャスト DNS の場合は、ルータツールラータに変更します。

- b. CLI コマンド `set network gateway new_gateway` を入力します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network gateway 10.53.56.2

WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.

Continue (y/n)?
```

**yes** と入力して Enter キーを押します。

**ステップ 6** 次の CLI コマンドを入力して、サブスクリバサーバの IP アドレスを変更します。

```
set network ip eth0 ip_address netmask
```

このコマンドでは、サーバの新しい IP アドレスを `ip_address` で指定し、サーバの新しいネットワーク マスクを `netmask` で指定します。

次の出力が表示されます。

```
admin:set network ip eth0 10.53.57.101 255.255.255.224

WARNING: Changing this setting will invalidate software license
on this server. The license will have to be re-hosted.

Continue (y/n)?
```

**yes** と入力して Enter キーを押します。

**ステップ 7** DNS を使用する場合、次の CLI コマンドを実行して、その他のノードのローカル解決が新しい IP アドレスにも解決されることを確認します。

```
utils network host sub-hostname
```

ここで、`sub-hostname` は、サブスクリバ ホスト名です。サンプル出力は次のとおりです。

```
admin:utils network host cup-123
Hostname cup-123 resolves to 14.86.13.11
```

**ステップ 8** 次の CLI コマンドで、パブリッシャ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

**ステップ 9** パブリッシャ ノードが再起動した後、次の CLI コマンドですべてのサブスクリバ ノードを再起動します。

```
utils system restart
```

**ステップ 10** パブリッシャ ノードで次のコマンドを入力して、データベース レプリケーションが正常に確立されたことを確認してください。

```
utils dbreplication runtimestate
```

サンプル出力は次のとおりです。

```
DDB and Replication Services: ALL RUNNING
```

```
DB CLI Status: No other dbreplication CLI is running...
```

```
Cluster Replication State: BROADCAST SYNC Completed on 1 servers at: 2012-09-26-15-18
Last Sync Result: SYNC COMPLETED 257 tables sync'ed out of 257
Sync Errors: NO ERRORS
```

```
DB Version: ccm9_0_1_10000_9000
Number of replicated tables: 257
Repltimeout set to: 300s
```

```
Cluster Detailed View from gwydlvm020105 (2 Servers):
```

SERVER-NAME	IP ADDRESS	PING (msec)	RPC?	REPLICATION STATUS	REPL. QUEUE	DBver& TABLES	REPL. LOOP?	REPLICATION SETUP (RTMT) & details
gwydlvm020105	192.168.20.244	0.038	Yes	Connected	0	match	Yes	(2) PUB Setup Completed
gwydlvm020106	192.168.10.201	0.248	Yes	Connected	128	match	Yes	(2) Setup Completed



(注)

- すべてのノードで REPLICATION STATUS が **Connected** であることおよび REPLICATION SETUP 値が **(2) Setup Complete** であることを確認することが重要です。この値が 2 以外になっている場合は、データベースのレプリケーションに何らかの問題があるので、レプリケーションをリセットする必要があります。
- レプリケーションセットアップの値が 2 になるまで、繰り返し `utils dbreplication runtimestate` コマンドを実行できます。

レプリケーションがセットアップされない場合は、次のトラブルシューティング手順を実行してください。

- パブリッシャ ノードで次のコマンドを入力して、レプリケーションをリセットします。  
`utils dbreplication reset all`
- パブリッシャ ノードで次のコマンドを再実行して、複製状態をチェックします。  
`utils dbreplication runtimestate`

**ステップ 11** 複数のサブスクリバ ノードの IP アドレスを変更した場合は、変更する各サブスクリバ ノードでの手順を繰り返して行ってください。

**ステップ 12** 「変更後のタスク」(P.8-1) を完了します。

